

前田 依里さん（広島県三原市出身）  
2017年度4次隊 青年海外協力隊  
派遣国：バヌアツ 職種：医療機器  
2019年3月24日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 医療機器の知識伝える

大洋州(オセアニア)に位置する南の国バヌアツ。「世界で一番幸せな国」「世界一火口に近づける火山がある国」として耳にしたことがあるかもしれない。人々はおおらかで、いつも笑顔にあふれている。

この国を語る上で外せないものといえば「ナカマル」である。何だか名字のようだが、現地の言葉で「集会所」を意味し、国民のソウルドリンク「カバ」が売られている。大洋州では特別な儀式などで広く飲まれるが、この国では儀式はもちろん、日常的な飲み物としても定着している。

コショウ科の木の根をすりつぶして水でこしたもので、見た目は泥水。味も決しておいしくはないが、飲むと鎮静作用を得ることができる。アルコールとは違う気持ちのいい感覚なのだそう。仕事終わりに1杯、2杯…。人々の疲れた体と心を癒やしている。



医療機器の部品交換の作業をする現地の看護師⑥

私はここで医療機器隊員として病院に派遣されている。血圧計、心電図計、人工呼吸器など病院で使われる医療機器は少なくない。修理されずに放置してあるもの、危険な使用方法などを見かけるたびに声掛けし、困っていることはないかと聞いて回った。

首都ポートビラに派遣されて約1年。「機器の調子がおかしい」と私を訪ねてくれる人も増え、看護師向けの医療機器の勉強会も形になってきた。できることは限られるが、医療現場で働く人々に正しい知識を伝え、共に考え、少しでも多くの医療機器が長くこの地で活躍することを願う。